

令和5年度 学校だより はがきた

学校づくりアンケート号 令和6年2月

教育目標

集中して学び、生命と人権を守り、郷土を愛する心
をもち、生きる力の基礎を身に付けた子どもを地域と
協働して育成する。『学ぶ子 守る子 がんばる子
ふるさとをおもう子』

児童・保護者の皆様に御協力いただきました「学校づくりアンケート」の集計が終わりましたので、結果をお知らせいたします。

アンケート項目は、児童と保護者で若干の表現は異なりますが、対比できるような項目になっております。なお、各項目の下には、それぞれの結果に対する学校側での考察およびコメントを掲載しました。

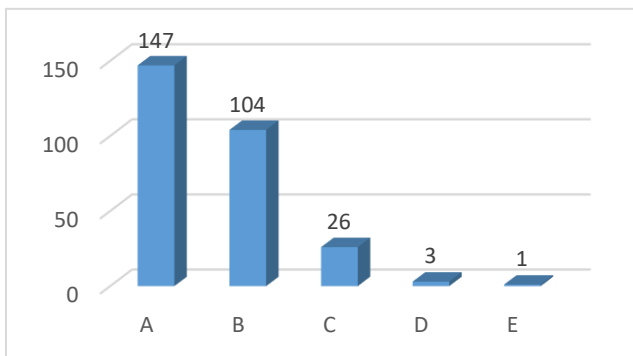
(グラフに付記してある数値は、全て人数となっています。)

- A よくあてはまる
- B ほぼあてはまる
- C あまりあてはまらない
- D まったくあてはまらない
- E よくわからない

確かな学力について

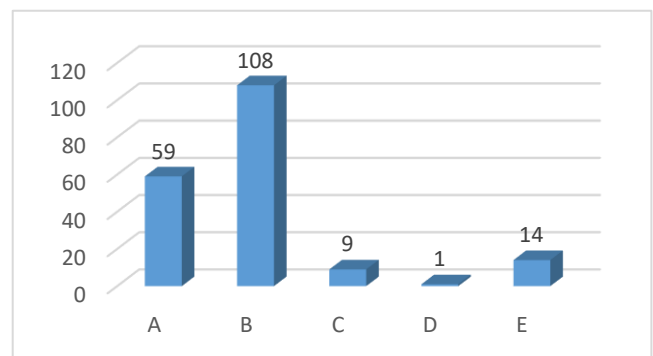
児童

Q1:授業の内容がよく分かる。



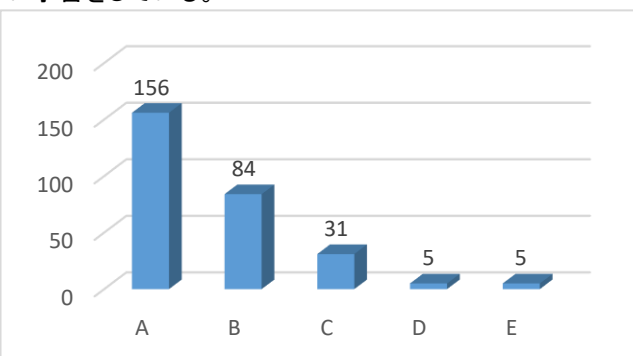
保護者

Q1:学校は、子どもに、楽しく、わかりやすい授業を提供している。

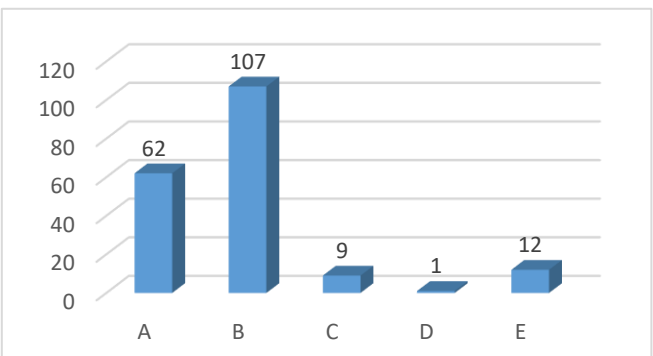


A (よくあてはまる)・B (ほぼあてはまる)を合わせた肯定的な意見は、児童の回答で89.3%、保護者回答でも87.4%である。保護者から「子供に寄り添った学びを提供していただいている。」というご意見をいただいている。しかし、「先生によって指導に違いがある。」というご意見もいただいているので、今後も成果や課題を検証し、授業改善を続けていきたい。

Q2:「みんながわかる、みんなでわかる」を目指し、学び合い学習をしている。

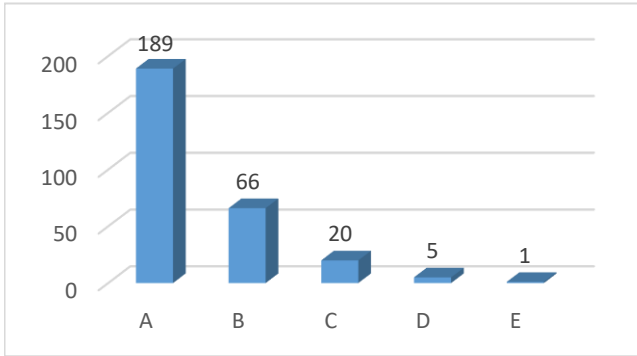


Q2:学校は、子どもの学び合う力を向上させている。

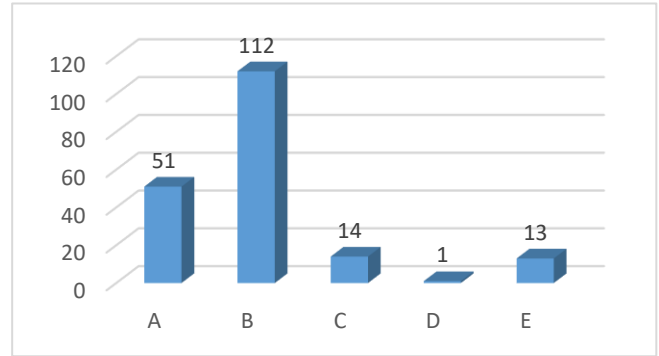


A・Bを合わせた肯定的な意見は、児童は85.4%、保護者回答は88.5%である。本年度は外部指導者をお招きし、「学び合い」の授業研究会を3回実施した。友達の見聞き合う、話し合う、教え合う等の活動を授業の中に取り入れてきた結果、その成果が現れてきている。授業中発言する児童も増えてきている。今後も、児童が自ら考え、表現できる機会を多く設けていきたい。

Q3: 授業に一生懸命に取り組んでいる。

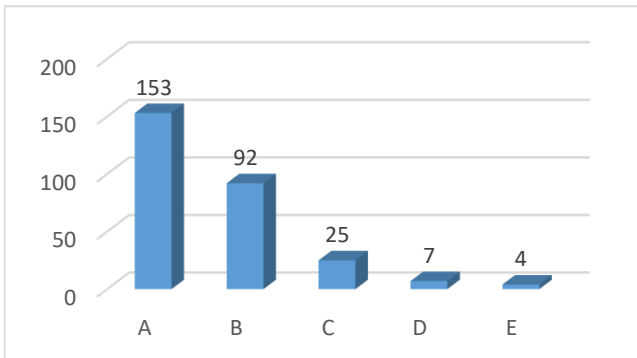


Q3: 学校は子どもの学習意欲の向上を図っている。

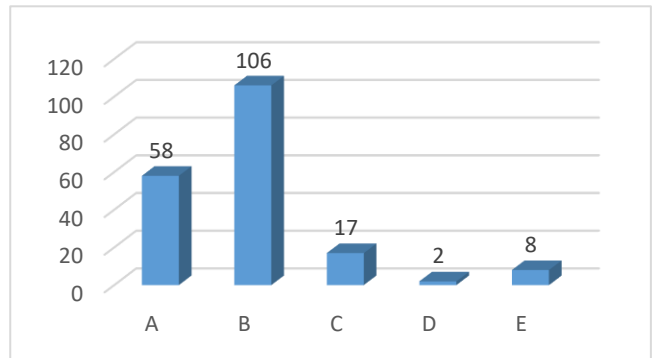


A・Bを合わせた肯定的な意見が児童が90.7%、保護者が85.3%である。一生懸命授業に取り組む児童が増えている。児童が授業内容に興味を持ち、楽しく学べる授業を展開することが大切である。また、保護者回答から、「様々な先生方から学んで欲しい。」といった意見もあるので、担任だけでなく様々な教員が関われる場を設けていけるよう改善していきたい。

Q4: 家で家庭学習の仕方・習慣が身に付いている。

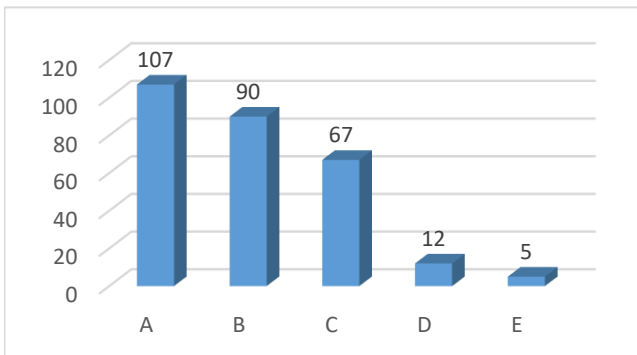


Q4: 学校は子どもの家庭学習の仕方を指導したり、習慣化を図っている。

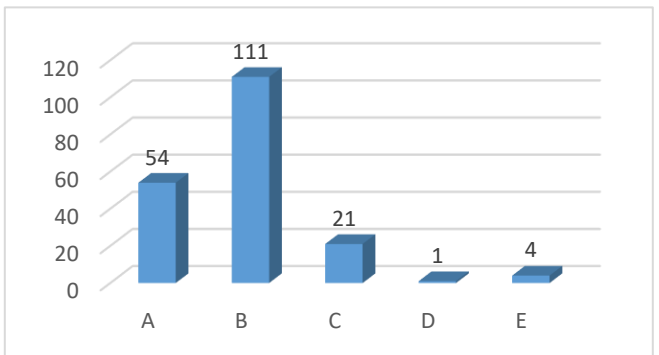


家庭学習の仕方・習慣については、A・Bを合わせた肯定的な意見が児童87.2%、保護者85.9%となっている。学力の向上には、家庭学習の充実も重要な一つであることから、学校と家庭が連携し、その方法を確立していけるよう改善を図ってきた。本年度は「自主学習強調週間」の設定や「自主学習の広場」の設置、児童表彰など、児童の意欲喚起や意識向上に取り組んできた。

Q5: 自分の考えを発表することができる。



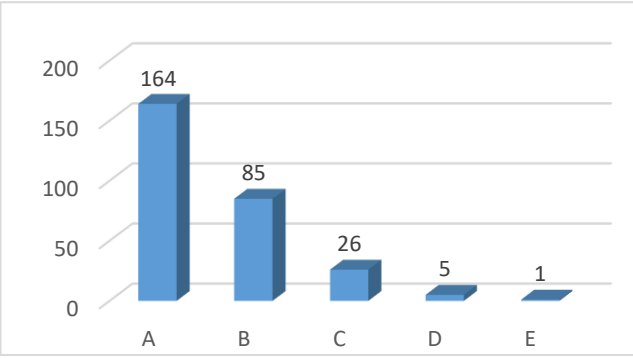
Q5: 子どもは家庭でも自分の意見をはっきり発言する力が育ってきた。



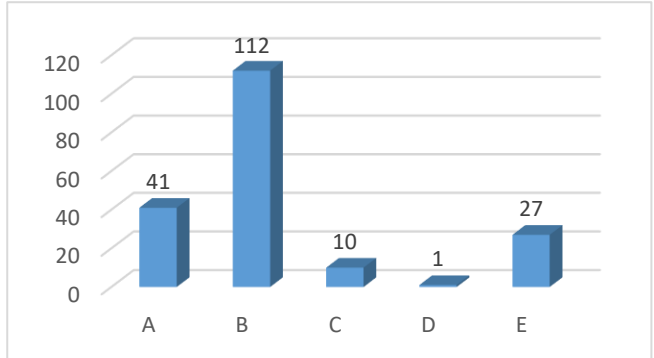
自分の意見や考えを発表することができるかについては、児童は70.1%、保護者からは86.4%の肯定的な意見を得た。4年間「学び合い」の研究を行ってきた成果が表れてきている。児童同士が話し合ったり発表したりする時間を増やなど、主体的・対話的で深い学びを目指し、積極的に授業改善に取り組んでいる。

豊かな心について

Q6: 道徳の時間に、テーマについて一生懸命に考えている。

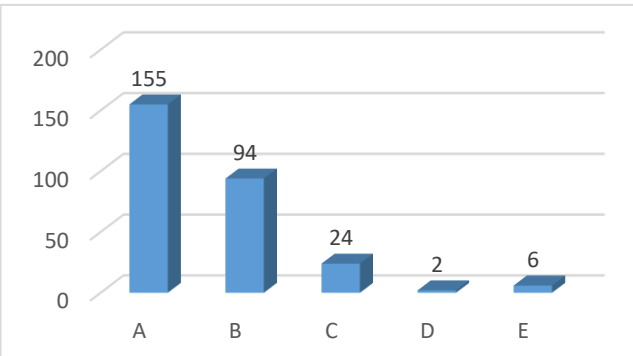


Q6: 学校は心の教育を目指し、工夫して道徳の授業を行っている。

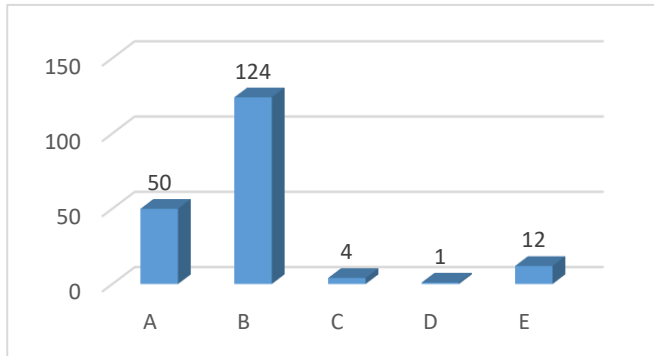


A・Bを合わせた肯定的な意見が児童が88.6%、保護者が80.1%である。授業参観時に保護者に道徳の授業を見てもらう機会を設けている。「特別の教科 道徳」と位置付けられ、学校教育活動全体で取り組む教科は道徳だけであり、授業では「考え、議論する道徳」へと転換を図ってきた。授業中、自分と対話しながら道徳の価値について真剣に向き合う姿が多く見られた。

Q7: 「3つのあ」を守って生活している。

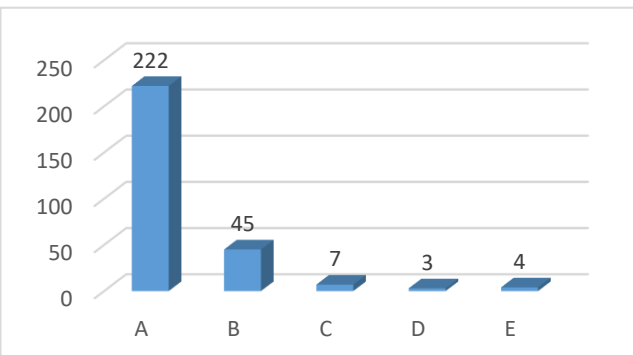


Q7: 学校は子どもの基本的な生活習慣を育てる支援をしている。

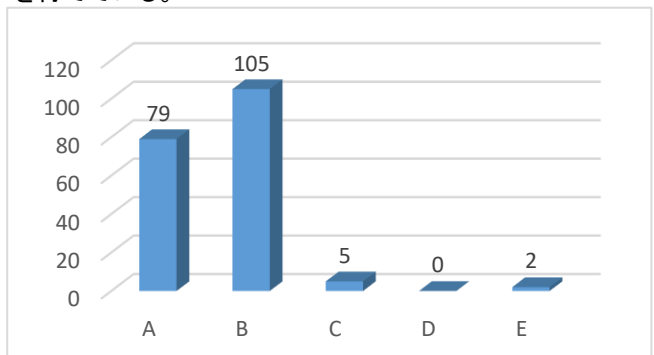


「北小っ子の一日」や「3つのあ(あいさつ・あんぜん・あつまりかた)」など生活目標を意識した生活が送れるよう指導している。A・Bを合わせた肯定的な意見が児童が88.6%、保護者が90.1%であり、肯定的な結果になっている。今後も引き続き、学校と家庭が連携し、児童の基本的な生活習慣を育てていけるように支援の充実を図っていく。

Q8: 学校での体験活動や行事などは楽しい。

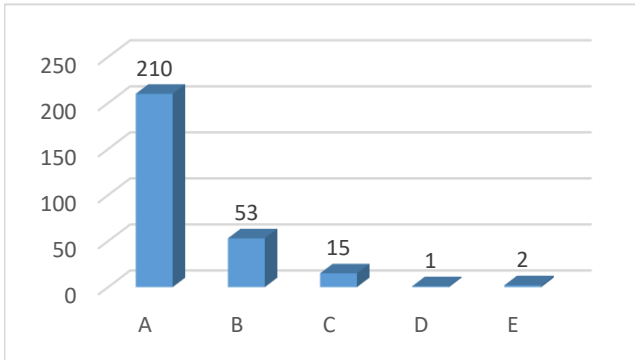


Q8: 学校での体験活動や行事を通じて、児童の豊かな心を育てている。

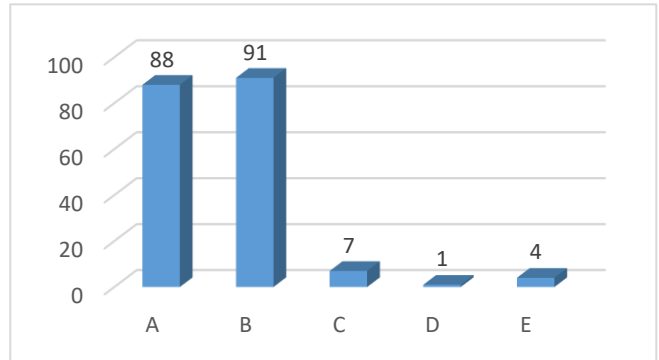


体験活動については、児童は95.0%、保護者は96.3%が肯定的な意見である。本年度は5月以降様々な活動が始動し、校内だけでなく校外での活動もほぼコロナ前通りに実施することができた。行事を通して大きく成長している姿があるので、今後も引き続き学校行事の目指すところを明らかにし、それが達成できるよう、積極的に働きかけていきたい。

Q9: 私は学級での役割を果たしたり友達と仲良くしたりしている。



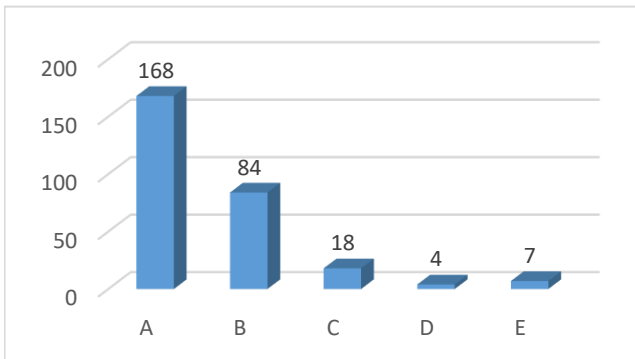
Q9: 子どもは、学級での役割を果たしたり友達と仲良くしたりしている。



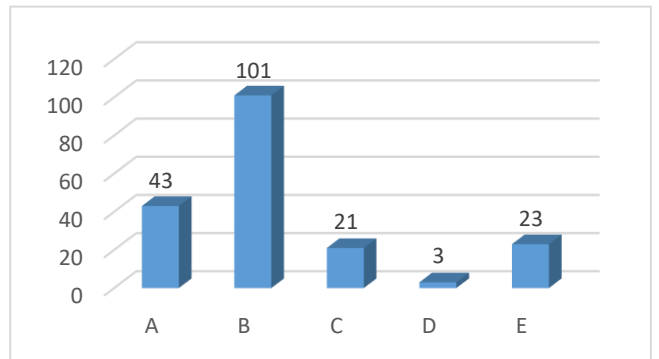
学級での様子では、児童は93.6%が役割を果たしたり友達と仲良くしたりしていると答えている。保護者回答の93.7%が肯定的な結果である。今後も家庭とより連携し、学校や家庭での役割を明確にすることなどを通して、勤労意欲を高めていきたいと考えている。また、友達との関わりについても、一緒に活動する場面で仲良くできるような居がいのある環境づくりを継続していきたい。

健康・安全について

Q10: みんなが安心して気持ちよく生活できるよう行動している。

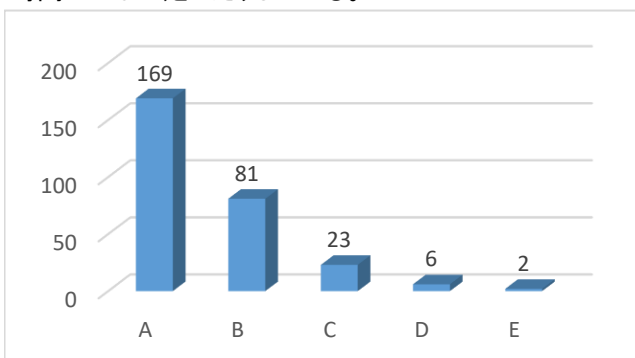


Q10: 学校は子ども一人一人に応じたきめ細やかな指導をしている。

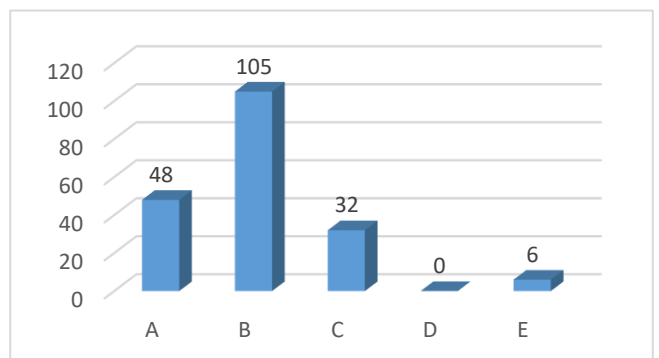


健康で安全な生活にするために、毎日の健康観察を行い、環境衛生検査や清掃指導を実施した。児童の89.7%は安心して生活できるよう行動したと回答している。保護者からは75.4%が概ねできているとの回答を得た。様々な感染症防止対策や早期対応を継続し、今後も学校と家庭で連携し、健康・安全な生活や望ましい生活習慣が確立できるようにしていきたい。

Q11: 給食を残さず食べようと努力したりランRUNタイムで時間いっぱい走ったりしている。

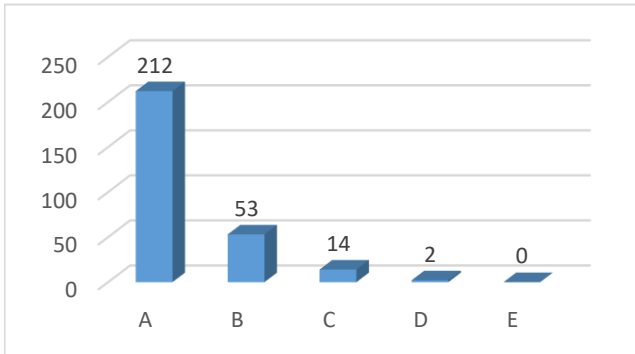


Q11: 子どもは健康を考えて、食事や体力づくりに気をつけている。

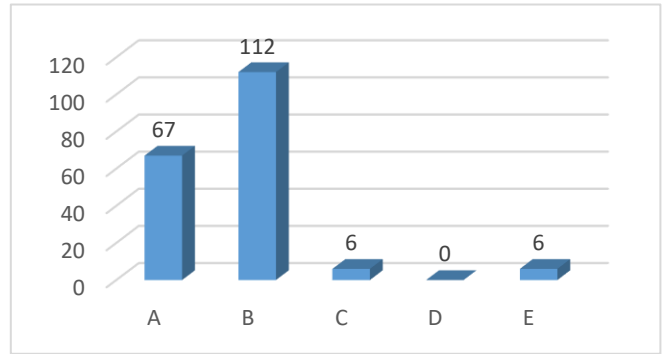


食生活や健康作りについては、児童が89.0%、保護者が80.1%が概ねできているとの回答を得た。バランスのよい食事を心がけることは、体の成長や心の成長に大きく影響し、健康づくりの基盤となるものである。健康な体づくりに必要なことを発達段階に応じた理解を図り、自ら管理していく力を身に付けることができるよう、学校と家庭が連携して進めていきたい。

Q12: 避難訓練や交通安全教室など、安全について学び、安全に気を付けて生活している。



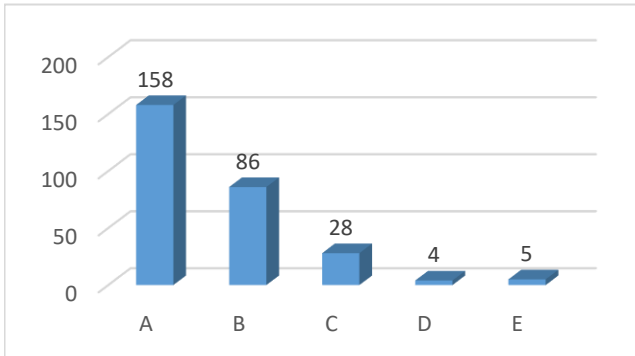
Q12: 子どもたちは災害安全や交通安全等について学び、安全に気を付けて生活できるようになってきている。



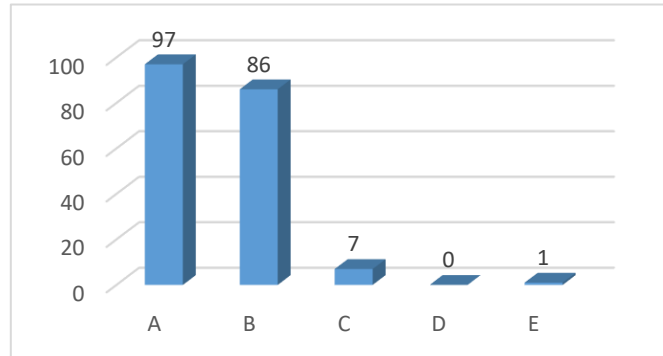
「安全に気を付けて生活している」という肯定的な回答は、児童が94.3%、保護者が93.7%である。登下校時における日常的な交通安全指導や学期初めの教員による登校指導、交通安全教室の実施、年3回の避難訓練等、計画的に学校教育の推進に取り組んできた。日常生活において危険な状況を適切に判断し、主体的に行動する態度を身につけられるよう学校と家庭が連携して進めていきたい。

地域とともにある学校について

Q13: 地域に出かけたり地域の方とふれあったりする活動が好きだ。

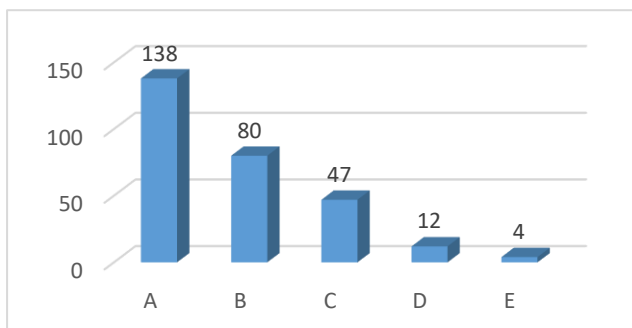


Q13: 学校は各種たよりやHPで学校の様子を知らせている。

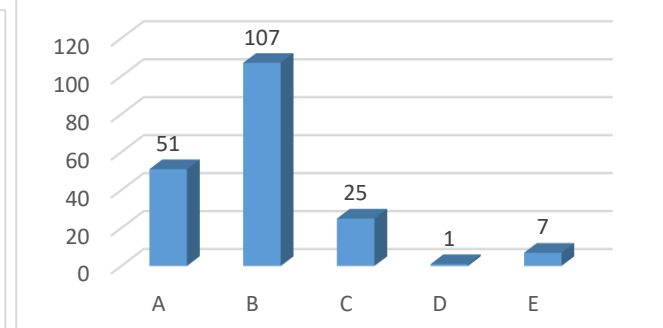


地域へ出かけたり地域の方とふれあったりする活動に関しては、児童の86.8%が肯定的な回答である。学校からのたよりやHPについては保護者の95.8%が肯定的な回答である。今年度から「はがまるふるさと学校」が新たに始まり、当日は地域の方々から多くの事を学ぶ児童の姿があった。校外学習もコロナ禍以前のように取り組まれ、地域に出かける機会も格段と多くなった。

Q14: 地域の方にあいさつしたり、地域の行事に参加したりしている。



Q14: 子どもは地域の方にあいさつしたり、地域の行動に参加することを楽しみにしている。



A・Bを合わせた肯定的な意見が児童が77.4%、保護者が82.7%である。地域の方にあいさつしたり地域の行事に参加したりして地域とつながりを持つ経験は大変重要である。今後も引き続き学校と地域がつながり、児童を育てていけるように考えていきたい。

